

質 問 回 答

平成 26 年 6 月 30 日

「(案件名) 北米・中南米地域日本の医療技術・サービスの中南米地域への海外展開支援に係る情報収集・確認調査」(公示日：平成 26 年 6 月 25 日 / 公示番号：140457) について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	【第3. 業務実施上の条件】 業務従事者の構成案について	2) 医療技術・サービス という分野を評価対象者にあげられていますが、ここで求められている医療技術とは、臨床面の技術、例えば医師をはじめとする医療職が備える技術という見解でしょうか。	医師をはじめとする医療職のバックグラウンドを必須としませんが、医療機器・サービス、医薬品、医療保険、医療行政等の医療関連業務に従事した経験を有し、医療職が備える臨床面の技術も含めた知見を有することが望ましいと考えます。
2	【第2. 調査の目的・内容に関する事項】 3. 業務の対象地域(グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス、ドミニカ共和国、メキシコ、ボリビア) 【第3. 業務実施上の条件】 1. 調査の工程 対象国の仕分け、派遣時期等の制約について	本調査の対象国は6カ国であり、調査工程は一次派遣と二次派遣に区分され、効率的、効果的な調査が可能であれば、一次派遣と二次派遣に3カ国ずつを調査することも可能とあります。調査時期は、一次派遣が凡そ8月下旬から10月上旬、二次派遣が10月下旬から12月初旬と予定されていますが、その際に、貴機構在外事務所、また調査対象国 C/P 関係者の都合等により、6カ国の仕分け(一次、または二次派遣に訪問する国の組み合わせ等)に制約が求められているということはないでしょうか。	ボリビアでは、10月12日に大統領選挙が予定されているため、効率的、効果的に調査を進める上で10月中の現地調査は避けていただくことをご検討ください。

通番号	当該頁項目	質問	回答
3	<p>【第2. 調査の目的・内容に関する事項】</p> <p>6. 業務上の留意点</p> <p>(2) 本邦招聘プログラム及びセミナー開催にかかる支援</p> <p>招聘期間について</p>	<p>招聘期間が10日間程度とありますが、日本での滞在期間という理解でよろしいでしょうか。または、各調査対象国と日本間の渡航日も含まれるのでしょうか。</p>	<p>各調査対象国と日本間の渡航日数を含めて10日間程度を想定しています。</p>
4	<p>業務指示書</p> <p>第5 プロポーザルに記載されるべき事項</p> <p>3 業務従事予定者の経験、能力等</p> <p>(2) 評価対象業務従事者の経験、能力等</p>	<p>【業務従事者:担当分野 医療技術・サービス】の語学力は「語学評価せず」と記載されていますが、一方で「プロポーザル評価表」中では、副業務主任者の語学力に2点配点されており、整合していないように見受けられます。</p> <p>評価表中の配点分は、別項目へ振り替えられると理解して差支えないでしょうか。</p>	<p>「医療技術・サービス」分野の業務従事者に対して、語学力の評価はしません。</p> <p>また、副業務主任者を配置する提案をされる場合、副業務主任者は、総括と同一の評価項目(医療システム分野の類似業務経験、対象国又は同類地域での業務経験及び語学力等)で評価されます。よって、「プロポーザル評価表」は業務指示書に記載のとおりです。</p>
5	<p>業務指示書【第2. 調査の目的・内容に関する事項】</p> <p>6. 業務上の留意点</p> <p>(2) 1) 本邦招聘プログラム及びセミナーについて</p>	<p>「招聘期間:10日間」の考え方についてご教示ください。</p> <p>招聘者の自国出発日を1日目とし、自国到着日を10日目とするという考え方で間違いはないでしょうか。</p>	<p>自国出発日から自国到着日まで10日間程度という考え方で間違いありません。</p>

通番号	当該頁項目	質問	回答
6	同 6.業務上の留意点 (2) 2) 主な支援業務	招聘者の本邦滞在中の移動・交通手段(例:車両借上、新幹線・航空券等)及び宿舎は、業務指示書[第2.調査の目的・内容に関する事項]P.3記載の「本邦招聘者受入に係る受入に係る事手続き、航空券の手配、必要な査証取得のための情報確認および取得手続き支援」に含まれるという理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
7	有償資金協力(メキシコを除く)	メキシコを除く事情はなにか。	メキシコに対する有償資金協力の実績等を勘案し、想定する協力スキームから除外しています。ただし、海外投融資の可能性についてはメキシコも含め全調査対象国に対して検討することを想定しています。
8	招聘人数;調査対象国の医療関係者 12名程度	基本的には対象1ヵ国につき2名程度と想定すればよいか。	基本的には1ヵ国につき2名程度を想定しています。
9	セミナー	セミナー開催のための会場費や資料印刷費を見積に計上できるか。	計上可能です。
10	講師の手配	講師謝金を見積に計上できるか。	計上可能です。
11	見学先の手配	見学先の施設・機関への謝金を見積に計上できるか。	計上可能です。

通番号	当該頁項目	質問	回答
12	研修監理員あるいは通訳の配置	研修監理員及び通訳の業務費を見積りに計上できるか。	計上可能です。
13	主要日系企業の分析	主要日系企業とは調査対象国あるいは中南米地域へ既に進出している企業という意味か。	中南米地域に既に進出している企業及び今後進出する可能性を有する企業とご理解ください。
14	通訳の現地備上を認める	通訳の現地備上に代わって、現地調査補助員の備上は可能か。	現地調査補助員が行う業務内容及び備上を必要とする理由をプロポーザルにて提案願います。

以上